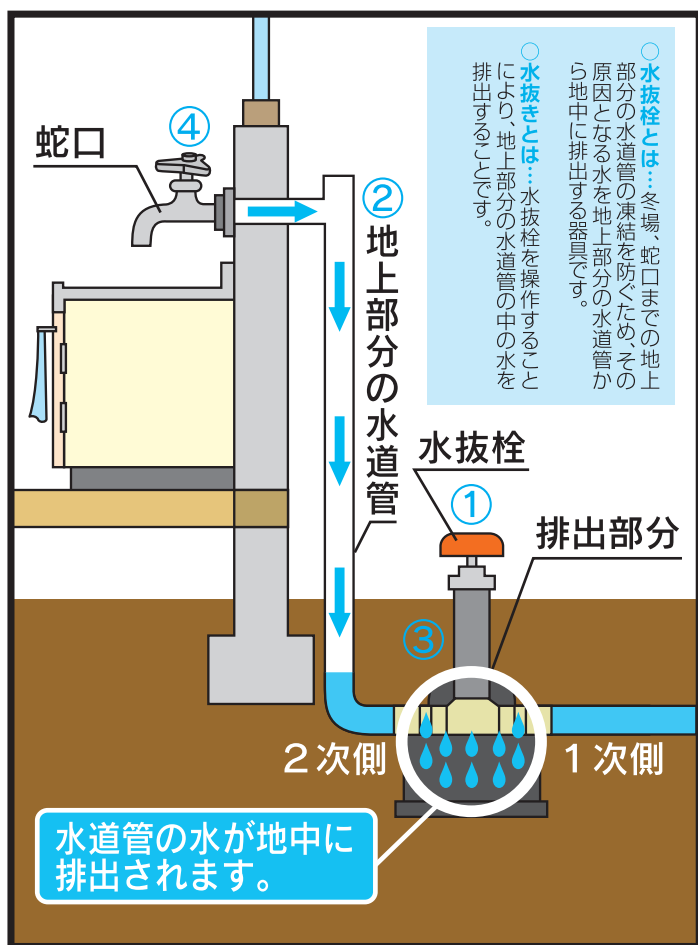


水抜栓の誤操作による漏水に気をつけて!



水抜栓の仕組み

水抜栓(①)を閉める(右回)と、水抜栓より外側(二次側)から入ってくる水を止めると同時に、水抜栓より内側(二次側)の地上部分の水道管(②)に溜まっている水を排出する(抜く)ため排出部分(③)が開きます。

しかし、このままでは水は排出されません。ストロー内の水※と同じように、水が排出される。

排出するためには地上部分の水道管内に空気を入れる必要がありますが、これは蛇口(④)を開く(左回)ることによって空気が入り、水が排出されます。

これにより、地上部分の水道管内には水がなくなります。

※水の入ったストローの片方の端を指で塞いでいると、もう片方からは水は排出されないのと同じ原理。塞いでいた指を離し、ストロー内に空気を入れることにより、水が排出される。

漏水の原因は水道管の老朽化による亀裂や破裂による地下漏水だけではありません。その他の漏水の原因として挙げられる主なものとして、水抜栓の誤操作があります。ここでは、水抜栓の誤操作による漏水を防ぐため、水抜栓の仕組みと漏水についてご紹介します。

水抜栓からの漏水

水抜栓の操作を誤ることでも思わぬ漏水が発生します。

水抜栓を閉める際の漏水

水抜栓は完全に閉まっていなると、二次側から入ってくる水を完全に止めることが出来ず、その水は排出部分からそのまま排出されてしまいます。

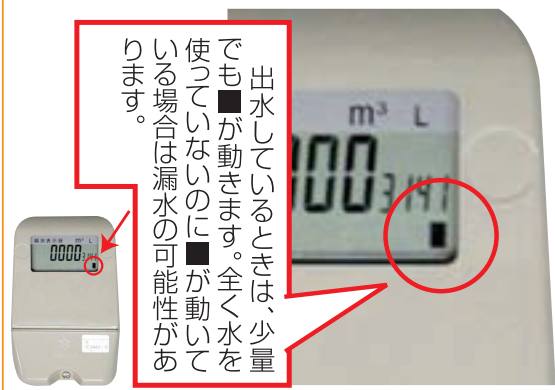
水抜栓を開ける際の漏水

水抜栓を開けると同時に排出部分が閉まりますが、水抜栓を完全に開けていないことで排出部分が完全に閉まらず、一次側から入ってきた水は排出部分からそのまま排出されてしまいます。

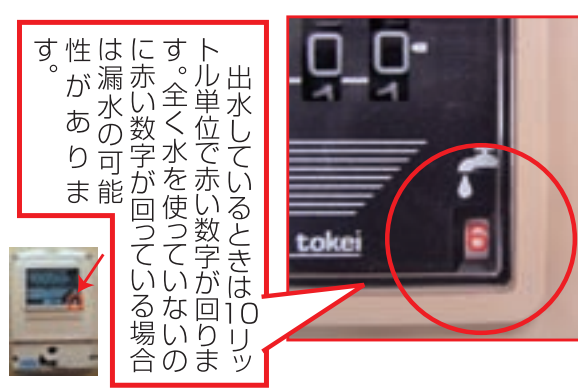
長期不在や引っ越し、冬場における水抜きの際は水抜栓の誤操作により思わぬ使用水量とならないよう、水抜栓の開閉操作は完全に行いましょう！



液晶表示のメーターの確認方法



カウンター表示のメーターの確認方法



漏水かな?と思ったら確認してみよう!